

# 平成20年度 事業報告書

平成 20 年 4 月 1 日から 平成 21 年 3 月 31 日まで

特定非営利活動法人 女性技術士の会

## 1 事業の成果

科学技術発展のための普及啓発事業及び女性の職域に関する普及啓発活動の一環として女性技術者のキャリア紹介に関する座談会を実施し、また、山梨大学、横浜国大に出向いて職域紹介を行った。このほかウイメンズプラザフォーラムに参加してパネル展示をしてNPO法人の活動を紹介し、また個人記録をファイルしたポートフォリオを作成した。

国際会議における交流事業ではICWES-14に参加しプレゼンを行い、また、日韓女性技術士との交流会で「21世紀の女性技術士の役割」について話し合い、NPO活動の紹介をした。仕事と生活の調和を目指した社会基盤整備啓発事業としては市民を対象に「住んでおもしろいまちづくり」のタイトルで大田区産業プラザでシンポジウムを開催した。

## 2 事業の実施に関する事項

事業名	内容	実施日	実施場所	従事者の人数	受益対象者の範囲及び人数	支出額(千円)
科学技術発展及び男女共同参画に関する普及啓発事業	技術サロン開催。JABEE課程の女子学生と女性技術士の交流の場として、技術士資格やキャリアに関して活発な意見交換を行った。	11月8日	(社) 日本技術士会会議室	7名	JABEE課程女子学生 9名	23
	理科系大学での職域紹介(山梨大学、横浜国大)	5月、10月	該当大学	4名	理科系女子学生 50名	3
	理系大学での女子大生との懇話会。「理系への就職と技術士」資格の必要性、キャリアと女性としての人生などについて話し合う。	11月10日	東京農工大学工学部	1名	理系女子学生 10名(うちJABEE課程女子 7名)	0
	関連団体が実施する催事でのパネル展示。	1月31日	ベルサール神田	6名	270名	0
	ウイメンズプラザフォーラムで活動のパネル展示。	10月	ウイメンズプラザ	10名	10数名	
女性の職域に関する啓発事業	個人の活動記録をファイルしてポートフォリオを作成。	通年	法人事務所	20名	理科系女子学生 50名	10
国際会議における交流事業	ICWES-14に参加してプレゼンテーションを実施。	7月	フランス リール	20名	500名	0
	韓国女性技術士との交流し「21世紀の女性技術士の役割」について話し合う。	9月	新潟	10名	20名	0

仕事と調和を 目指した社会 基盤整備啓発 事業	一般市民向けに「おもしろ いまちづくり」シリーズの 第1弾として「これからの まちづくりに望まれる女性 技術士の役割」に関するシ ンポジウムを実施。	11月29日	大田区産業ブ ラザ	13名	19名	64
その他目的を 達成するため の必要な事業	HP更新による法人事業の普 及啓発のための情報発信。	随時	法人事務所	3名	不特定多数	7

平成20年度 特定非営利活動に係る事業会計収支計算書

(平成20年4月1日から平成21年3月31日まで)

(単位：円)

科 目	金 額	
(経常収支の部)		
I 経常収入の部		
1 会費・入金収入		
入金収入	0	
会費収入	130,000	130,000
2 事業収入		
(1)「仕事と生活の調和」を目指した社会基盤整備啓発事業	27,000	27,000
3 補助金等収入		
地方公共団体補助金収入	0	
民間助成金収入	0	0
4 寄付金収入		
任意団体からの寄付金	0	
その他寄付金	7,000	7,000
5 その他収入		
利息収入	334	
都民税免除による預かり金戻り	23,300	
任意団体からの繰入金	0	23,634
6 その他の事業会計からの繰入	0	0
経常収入合計		187,634
II 経常支出の部		
1 事業費		
(1)科学技術発展及び男女共同参画に関する普及啓発事業		
交通費	4,520	
印刷製本費	17,100	
消耗品費	1,827	
書籍費	10,000	
通信運搬費	2,680	
振込手数料	80	
(2)「仕事と生活の調和」を目指した社会基盤整備啓発事業		
会場費	12,200	
会議費	5,000	
交通費	46,000	
消耗品費	605	
振込手数料	105	
(3)その他目的を達成するために必要な事業ホームページ維持費	7,430	107,547
2 管理費		
会場費	11,100	
通信運搬費	280	
振込手数料	405	11,785
経常支出合計		119,332
経常収支差額		68,302
III その他資金収入の部		
1 固定資産売却収入		
その他の資金収入合計		0
IV その他資金支出の部		
1 固定資産取得支出		
その他の資金支出合計		0
当期収支差額		68,302
前期繰越収支差額		202,928
次期繰越収支差額		271,230
(正味財産増減の部)		
V 正味財産増加の部		
1 資産増加額		
当期収支差額(再掲)		
2 負債減少額		0
増加額合計		0
VI 正味財産減少の部		
1 資産減少額		
当期収支差額(再掲)(マイナスの場合)	68,302	
2 負債増加額		0
減少額合計		68,302
当期正味財産増加額(又は減少額)		68,302
前期繰越正味財産額		202,928
当期正味財産合計		271,230